



現役の活動状況

第71回高校春季総合体育大会、兼、第68回インターハイ予選

2017年4月29日～6月11日

女子 参加 42 チーム

元7代目顧問・外部指導者・赤星 明

[北ブロック大会・リーグ戦]

● 寝屋川 8 - 20 千里青雲

● 寝屋川 16 - 22 豊 中

(北ブロックトーナメント戦・進出ならず)

3年生は、人数も少なく、新入生を入れての、去年夏の合宿では、千里青雲高校にも、豊中高校にも、大差で負けていました。

また、今年3月には、新人戦後、キーパーから、フィールドプレーヤーに戻ったキャプテンが、退部することになりました。

それまでも、よく練習を、休んでいたのですが、後期期末考査後、「少し、休みます」と、メールが入りました。

このままでは、最後の春休みを、中途半端に迎えることになるので、69期生の終業式の日、呼び出して、聞いたところ、少し考えて、「やめます」との、返事でした。

あと2ヶ月で、引退のこの時期に、3年生も、私も、期待と信頼していただけに、少しショックでした。

しかし、3年生も2年生と共に、練習を重ねていくうちに、何とかなると、思えるようになってきていました。

春休みに、副キャプテンが、体育準備室に来て、「剥離骨折で、医者へ2ヶ月、練習できないと、言われました」と、私に泣きながら、伝えにきました。

私は、「無理しなくていいから、できることをやりなさい。インターハイ予選には、間に合うから」と、言いました。

チームの状態は、あまりよくありませんでしたが、がんばって、練習を続けました。

4月5日に、堺市市民大会に参加することになり、決勝で、泉陽高校を破って優勝し、選手も、私も、手ごたえを、感じていました。

インターハイ予選の、抽選をひいたとき、厳しいゾーンに、入ったと思いました。

結果は、負けましたが、9ヶ月前の夏には、歯が立たなかった2チームに、最後までよく戦いました。

3年生にとっては、満足のいく試合が、できたと思っています。

新チームの2年生は、13名いて、1年時から、試合に出て、経験をつんでいる、選手もいるので、期待できると、思っています。

本年で、私は、退職となりましたが、引き続き、外部指導者として、寝屋川高校で、指導を続けています。

しかし、今までのように、新入部員の勧誘ができなかったのが、1年生が5名しか、入ってきませんでした。

久々に、来年の入部者が少ないと、試合に出れるかどうかという、心配をしています。



男子 参加 65 チーム

8代目顧問・堀川 美子 (27期生)

[北ブロック大会・リーグ戦]

○ 寝屋川 15 - 13 芥川

○ 寝屋川 25 - 12 山田

(北ブロックトーナメント戦・進出)

[北ブロック大会・トーナメント戦]

1回戦 ● 寝屋川 8 - 22 桜塚

(中央大会・進出ならず)

3年生部員がいない中、2年生8名は、新人大会終了後、身体づくりからやり直し、基本の練習をしてきました。

春休みには、いろんな学校と、練習試合を、組ませてもらいました。

その時は、3年生チームには、勝てないまでも、今までのように、やられっぱなしのゲームではなく、自分たちの練習したことが、ゲーム中に出すことができ、得点を取れるように、なってきていました。

その感触は、「粘り強いチームに、なってきているなあ」と、思えるものでした。

新学期を迎え、新入生の勧誘を頑張った結果、11名の新入部員と、2名のマネージャーが、クラブ体験後に、入部してきました。

新入1年生部員は、やる気も十分感じられ、2年生8名は、「うかうかしていると、追い越されるのでは?!」と、お尻に火がついたようで、楽しみでした。

春季大会の抽選会で、練習試合をしたことがない、芥川高校と山田高校を、引きました。

芥川高校は、クラブ内がゴタゴタして、春休みには、あまり練習できていないと、噂では、聞いていましたが、「3年生や、経験者がいるので、勝つのは、まだ無理かな?!」と、思っていました。

試合が始まると、お互いが、点を取られたら、取り返すの、白熱した、競ったものになりました。

この日の、私の采配は、ことごとく的中し、ノーマークになり、シュートも決まるといふ、自分たちのリズムに、はまりました。

前半は8-7で、1点リード。

後半もみんな、冷静でのびのびと、戦っていました。

残り5分前には、2点差で、勝っていました。

相手チームは、あせっており、向こうが、タイムアウトを取りました。

「相手に追いつかれても、大丈夫だから、今まで、練習でやってきたことを、やり尽くそう!」と、言って、試合が再開されたのですが、予想通り、あつという間に、同点になりました。

「まだ、勝利を手にするのは、早いのか?」と、思った瞬間、普段は、あまりサイドから回りこんで、ねらわなかった選手が、打ったシュートが、キーパーの足に当たり、ゴールイン。

よし、いけると思ったら、相手は、オールコート、マンツーマンを、してきました。

これも、練習をしてきた通りのプレーで得点!、終了の笛が、鳴ったとたん、選手たちは号泣でした。

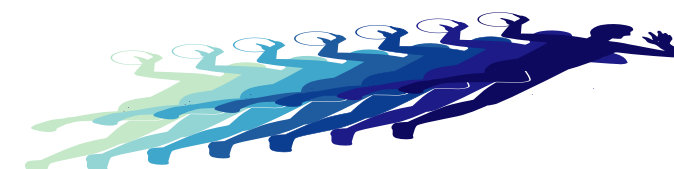
1年生は、初めて見た、寝屋川のチームプレーの試合に、感動し、自分たちも、頑張ろうと、強く思ってくれたようです。

「公式戦で、1勝を!」が、次の山田高校にも快勝し、ブロックトーナメントに進出しました。

ブロックトーナメント1回戦の、桜塚高校は、一人一人の能力も高く、技術も優れていました。

勢いも、ありました。

そんな中、前半は5-10と、よく耐え忍びました。





が、後半戦が始まってすぐに、我がチームの得点源となる選手が、ロングシュートの際に、ぶつかられ、左腕を骨折。

その後は、みんなが浮き足立って、向こうのペースに、巻き込まれて、大差をつけられてしまいました。

今回の試合で、部員達は少し、自信がついたと思います。

新入1年生部員と共に、夏の合宿、秋季大会目指して、頑張っていくこと、日々、練習に励んでいます。

[現役の状況]

学年	男子	マネージャー	女子	マネージャー	合計
3年	0	0	5	0	5
2年	8	0	13	1	22
1年	11	2	5	0	18
合計	19	2	23	1	45



大阪大会方式

(1) 秋季大会

1. 8月上旬、大阪府下全校、シード制なしのオープントーナメント方式で行われます。

・2016年度 参加校 男子 66チーム
女子 42チーム

2. 春のインターハイ予選後、大部分のチームは1~2年生の新チームでの参加となりますが、3年生の参加も、可能

(2) 国体

1. 10月

2. 府県選抜チームとして出場、近畿で男女2府県チームが国体出場

(3) 新人大会、兼、全国選抜予選大会

1. 10~11月、1~2年生の新チームでの大会

・2016年度 参加校 男子 64チーム
女子 41チーム

2. 4月の春季大会、兼、インターハイ予選の、中央大会の上位4チームがシードされ、その4チームを除くチームで、南北ブロック大会を開催

・北ブロック大会(寝屋川参加)

2016年度 参加校 男子 30チーム
女子 21チーム

3. 北ブロック大会でも、4月の春季大会、兼、インターハイ予選の、北ブロックの上位4チームがシードされ、まず、そのシード4チームを除くチームが、3チームずつでブロック・リーグ戦を行い、勝ち抜いた1チームが、北ブロック・トーナメント戦に進出

4. 次に、北ブロック・リーグ戦を勝ち抜いたチーム同士で、北ブロック・トーナメント戦を行い、4チームを選出そして、北ブロック・トーナメントを勝ち抜いた4チームと、北ブロックシード4チームで、トーナメント戦を行い、北ブロック1~4位を決定し、中央大会に進出

5. 中央大会は、まず、南北ブロック勝ち抜いた4チーム同士で対戦し、次に、その対戦を勝ち抜いた4チームが、中央大会シード4チームと対戦、そして、その対戦を勝ち抜いた4チームで、トーナメント戦を行い、大阪府の1~4位の順位を決定

・1月開催の近畿新人大会、兼、全国選抜予選大会に、大阪府より、男女2チームが出場

・3月開催の、全国選抜大会に、近畿より、男女6チームが出場

(4) 春季総合体育大会、兼、インターハイ予選

1. 4~6月

・2017年度 参加校 男子 65チーム
女子 42チーム

2. 10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の、中央大会の上位4チームがシードされ、その4チームを除くチームで、南北ブロック大会を開催

・北ブロック大会(寝屋川参加)

2017年度 参加校 男子 29チーム
女子 20チーム

3. 北ブロック大会でも、10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の、北ブロックの上位4チームがシードされ、まず、そのシード4チームを除くチームが、3チームずつでブロック・リーグ戦を行い、勝ち抜いた1チームが、北ブロック・トーナメントに進出

4. 次に、北ブロック・リーグ戦勝ち抜いたチーム同士で、ブロック・トーナメント戦を行い、4チームを選出そして、北ブロック・リーグ戦を勝ち抜いた4チームと、北ブロックシード4チームで、トーナメント戦を行い、ブロック1~4位を決定し、中央大会に進出

5. 中央大会は、まず、南北ブロック勝ち抜いた4チーム同士で対戦し、次にその対戦を勝ち抜いた4チームが、中央大会シード4チームと対戦、そして、その対戦を勝ち抜いた4チームで、トーナメント戦を行い、大阪府の1~4位の順位を決定

・7月開催の近畿大会に、大阪府より、男女5チームが出場

・8月開催のインターハイに、大阪府より、男女1チームが出場

・試合時間、男女とも、25分-10分-25分

・詳細は、インターネット「大阪高体連ハンドボール専門部」のホームページを、参照して下さい。

顧問就任のご挨拶

32期 西山 直志

こんにちは。

32期生の、西山です。

このたび教員(社会科)として、寝屋川高校に戻ってまいりました。よろしく、お願いいたします。

早速、堀川先生(27期生、8代目顧問)から、顧問になるように、仰せつかりました。

30数年の教員生活、ハンドボールから、遠ざかっておりましたから、何が出来るのやら、恐縮するばかりです。

同期の連中は、西山が寝屋高に戻ったかと、喜んでくれましたが、当人には、見知った風景がそこにあるというだけで、学生気質や学校のコンセプトが変わるなか、戸惑うことのほうが、多いようでもあります。

さても、後輩たちは、今も、西日に汗を光らせ、生気溼漑として、ボールを追い、走っています。

堀川先生、赤星先生(7代目顧問)の日々のご指導は、熱烈峻厳とされています。

どうぞ、OB・OGの皆さま、あたたかいご声援を賜りますようお願い申し上げます。





2017年

新年ハンドボールの報告

今年の「新年ハンドボール」が、1月14日（土）、雪の予報でしたが、雪もなく、無時に、現役・OB・OG67名の参加のもと、母校寝屋川高校、グラウンド、セミナーハウスで、行われました。

正午からの親睦試合には、55・56・58・59・64・68期のOB・OGが夫々、誘い合って多数参加してくださり、現役と楽しく、プレーすることが出来ました。

その後、第2部の新年会は、今年は食堂で、OB・OG会会長、顧問の先生の挨拶、現役への激励金の授与後、暖かい豚汁・おしるこを食べながら、恒例のビンゴゲームを行い、景品を受け取る時に、それぞれの名前・出身校・今年の抱負等を、皆の前で発表していただき、和やかな雰囲気の中、懇親会を楽しく、終えることが出来ました。

今年は、特に、若手OB・OGの参加が多く、活気のあるものとなりました。

現役も、顧問の赤星先生・堀川先生の、熱心な指導の下、目標に向かって頑張っています。

OB・OGの皆さん、現役達にOB・OGの往年のプレーを伝授するとともに、エールを送ってやって下さい。

8月の「盆サマーハンド」、多数の参加を、お待ちしております。

2016年度・69期生

OB・OG会入会式

平成28年度、ハンドボール部の卒業生、女子13名・男子11名、計24名のOB・OG会入会式を、母校のセミナーハウスで、卒業式を明日に控えた、2月26日（金）に行いました。

寺西会長（20期）より、お祝いのことば、ハンドボール部の部歴、活動目的・会則が説明された後、「認定書」「記念品」を授与致しました。

その後、OB・OG会の役員を交え、和やかな雰囲気での話し合いの中、今後のOB・OG会活動の学年代表（協力者）として、男女各3名の幹事を、選出してもらいました。

卒業後、学生や社会人となり、それぞれの道に進んでも、寝屋川高校のハンドボール部で、共に汗を流した仲間や、頑張りを忘れず、OB・OG会の活動を通じて、顧問の先生・先輩・現役とも親睦を

深め、共に、今後の寝屋川高校ハンドボール部、OB・OG会の益々の発展に、尽くしていくことを確認しあいました。

2017年 総会・盆サマーハンドボールの案内

現役秋季大会（8月8～12日）や、学校行事の都合で、少し遅くなりますが、第25回総会、及び、盆サマーハンドボールを、下記の日程で行います。

夏休み中、猛暑のグラウンドで、現役は毎日、頑張っています。

ここ数年、若手OB・OGも少し増え、親睦試合も出来るようになってきましたが、まだまだ、メンバー不足です。

卒業後、活躍されている先輩達の姿を、是非、現役達に見せ、エールを送ってやって下さい。

暑い夏の夜、第2部の懇親会で、グーッと美味しい生ビール一杯も待っています。

現役への応援・支援をこめ、より多くの皆様の、参加をお待ちしております。

日 時	平成28年8月19日（土）	
総 会	13:00～	セミナーハウス3階会議室
親睦試合	14:00～	ハンドボールコート
懇 親 会	16:00～17:00	セミナーハウス3階会議室
2 次 会	17:30～	がんこ寿司寝屋川店
参加費	1,000円	
<雨天の場合>		
総 会	13:00～	セミナーハウス3階会議室
懇 親 会	14:00～15:00	セミナーハウス3階会議室
2 次 会	15:30～	がんこ寿司寝屋川店
参加費	1,000円	

会計よりの、御礼とお願い

23期 井上 武久

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただきますとともに、次掲の皆様には、平成28年度（2016.7～2017.6月）の会費を納入していただきまして、厚く御礼申し上げます。

現在、本会は、会員が増加しているにもかかわらず、会費収入が伸び悩み、会報発送等の費用増加のため、財政状況は、非常に厳しい状態となっております。

今後とも、本会の存続、発展、並びに、円滑な運営を行うため、平成29年度（2016.7～2017.6月）の年会費の払い込みにつきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みには、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みをお願いいたします。

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

（注）金額欄には「¥」を、書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に対しての、ご意見や、近況報告など、ご自由にご利用下さい。

・銀行振込利用

振込銀行 三井住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久（イノウエ タケヒサ）

※年会費：社会人 5,000円
学 生 3,000円

平成28年度(2016.7～2017.6月)会費納入者

2017.6.30 現在

- 3期 睦月欣子 村田芳子 梅垣修三 中嶋直彦
- 5期 松本由紀子
- 6期 望月滋乃
- 7期 金馬桂子
- 9期 長澤邦子
- 12期 若井比沙子
- 13期 土井利勝 平井謙二
- 15期 小倉裕子
- 16期 北村文雄 木野実 多賀谷博康
- 17期 中田順子 川口宗一郎
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次
- 19期 平井晴美 吉田裕紀
- 20期 仲尾由紀子 山中恵子 井川隆三 香西安勝 寺西啓三





- 21期 梅垣三七子 菊池和代 今堀太逸 内田一男 松尾信一郎
- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 井上武久 葛木啓之
- 24期 小合省三
- 27期 渡部安晴
- 28期 岡本博
- 29期 甫田裕佳理 望月光治
- 31期 大森孝志 田中裕一
- 34期 荒木克洋
- 36期 正田文子
- 38期 笠松昭良
- 41期 安田郁
- 44期 谷和哉
- 52期 大森裕介
- 55期 大森さやか
- 57期 大森耕介
- 58期 井本実和
- 59期 北崎千咲子 土井安寿香



大阪に戻ってきたとのことなので、ぜひ同期会を、開きたいと思っています。
1人でも多く、集まれたら、いいですね♪
楽しみにしています。 (2016. 12. 20 受)

65期 篠原 英里子

65期生の、篠原英里子です。
今年度から、大阪府の教員として、働かせていただいています。
教育実習から、教員採用試験、そして、現在のことを、少し書かせていただきます。
高校3年生の、引退試合直後、赤星先生(7代目顧問)に、「次は、教育実習やな。待ってるぞ」と、言っていた時から、私の中の教育実習は、寝屋高で始まっていました。
そして、大学3回生の秋から、教育実習生として4週間、お世話になることになりました。
実習に行く前から、色々な先輩から「寝屋高の、保健体育科の教育実習は、やばい!」と、聞いており、心の準備はできていたのですが、私に出来るのかと、とても不安でした。

そんな時、半年前に、寝屋高での教育実習を終えていた、64期のあさみ先輩に、「しんどいことも、多いと思うけれど、本当に勉強になるし、成長できる!」と、電話をいただき、頑張ろうと、決心しました。
実習に行くと、高校生の時に、楽しく受けていた、体育の授業が、裏で、こんなにも考えられていたんだと、びっくりしました。

実習期間中、堀川先生(27期生、8代目顧問)には、追い出し後に、何時間も、指導していただきましたし、時には、ハンドボールの試合会場で、指導していただいたりもしました(笑)。

赤星先生には、たくさんアドバイスをさせていただいたり、私が堀川先生に怒られて、へこんでいる時に、優しく、声をかけてくださったりしました。

当時は、本当にしんどくて、こんな自分が、教師になれるのか、なってもよいのかと、とても悩みました。

しかし、大事な授業を、毎日たくさん任せていただいて、たくさん指導していただき、人として、教師を目指す人間として、一回りも二回りも、大きく成長することが、できました。

そして、実習最終日には、先生方と「必ず、教師になります。」と、約束し、教育実習を終えました。

大学3回生で、教育実習に行き、教員採用試験までは、少し時間があつたので、当時、大学で所属していた、ラクロス部での練習に、明け暮れていました。

4月になり、大学推薦をいただき、大阪府の小中いきいき連携と、いう枠で、受験することになりました。

部活との両立は、大変でしたが、無事合格することが、できました。

そして現在、寝屋川市の小学校で、4年生の担任を、させていただいています。

毎日、学ぶことが多くて、大変ですが、充実した日々を、送っています。

ふとした瞬間に、「これが、堀川先生がおっしゃっていた、あれかあ」と、思うことがあります。

これからも、教育実習で学んだことを活かして、目標とする、先生に近づけるよう、頑張っていきます。

余談ではありますが、先日、寝屋川市の研修があり、様々な教科がある中、体育の研修に、参加したところ、同期のらんと、64期のあさみ先輩に、会いました。

寝屋川高校ハンドボール部の、繋がりや、すごいと感じるとともに、これからも、その繋がりを、大切にしていきたいと、思いました。 (2017. 6. 12 受)

会員だより

3期 森廣 洋子 (旧姓、岡崎)

いつも会員だより、楽しく読ませて、頂いております。
皆さんの御活躍を、心より願っております。 (2016. 12. 21 受)

32期 岩本 年成

大変ご無沙汰しておりますが、会報楽しみに、読ませて頂いております。

平成28年4月1日より、新店舗、独立オープンしました。

パナソニックの店

パナライフ田代店

名古屋市千種区田代本通4-1-5

TEL 052-364-9855

(2016. 12. 19 受)

43期 小林 恭子 (旧姓、奥田)

今回、同期の「ちゃお」のリレー伝言板を、楽しく読ませてもらいました。

<会員通信> リレー伝言板

28期 笠松 昭良

29期の興井さんからの、チェーンメール要請を受けて、寝屋川高校ハンドボールOB会への原稿を、書き出してあります。

興井さんが、私の事なんぞを、覚えてくれていた事に、驚いています。

でも、彼の原稿を、読まして頂き、お元気そうなのが伝わり、懐かしかったです。

彼の同期の、29期生の方々である、西村さんを始めとするメンバーの、元気な顔が、臉に浮かんでくる、感じがします。

ところで、私は28期生の、笠松です。

現役の頃、我々の1年先輩たちは、非常に強く、確か大阪府の大会でベスト4に残り、近畿大会にも出場をされたと、記憶しております。(渡部さんがキャプテンで、肥前さん、岸田さん等の、先輩がいらっしゃいました。)





寝屋川クラブ会報

それに引き替え、我々の世代は、そこそこ、強かったのではとは、思いますが、大事な試合では、一度も勝てずに、大阪府の大会の本戦にも、出場する機会を持てなかったです。

同期には、部長の岡本さんを始めとして、木村、武井、白井、松原、内山さん等の、そうそうたるメンバーがいたはずなのですが、コロッと負けてしまいました。

私は、その為、高校生時代のハンドボール生活に、不完全燃焼を感じましたので、大阪府立大学に入っても、ハンドボールを続ける事にしました。

大阪府立大学のハンドボールも、これが又、そこそこ強く、卒業するまでに3度程、1部の入れ替え戦にも、出場の機会を持てたのですが、やはり当時も、1部の壁は非常に厚く、結局は、2部リーグでの優勝が、現役時代における、最高の成績となりました。

今、考えると、真夏の辛い合宿や、真冬の寒い体育館での特訓等、当時の学生さんが、軟派に勤しんでいる間に、何故に汗水を垂らして、報われる事の無い練習をしていたのかが、不思議な感じがします。

もう一度やれと言われても、絶対に今なら「嫌」と、言うと思います。

だって、他に楽しい事を、一杯知ってしまったのですから、今更無理～って、感じですね。

でも、大学卒業後も「白鷺クラブ」という名前の、大学OBのクラブチームを作って、その後も、約7～8年間程度(30歳近く)までは、大阪の社会人リーグに登録をして、頑張っておりました。

その時も、大阪瓦斯を撃破して、リーグ優勝を一度した、経験があります。

但し、大阪府立大学のOBだけでは無く、学生時代の2部リーグで、活躍していたメンバーを募り、2部連合チームとして、活動しましたので、2年間ぐらいは、大阪でも、結構強豪として、頑張れた時代がありました。

当時のイーグルスなんぞとも、試合をした良い思い出が、御座います。

ボロ負けはしましたが、全日本の穂積、キーパーの本田さんたちと、試合が出来た事が、良い思い出です。

30歳頃からは、主力のメンバーたちも、流石に長時間走る事が出来なくなり、白鷺クラブの活動も、下火になり、終には、頓挫してしまいましたが、逆に永年が経過した、ここ最近、大阪府の南部の方々が始められた、シニアリーグに、年に2度程度は、白鷺クラブの一員として、参加させて頂いております。



大阪府の南部には、岸和田、鳳、三国ヶ丘等の高校のOBで、ハンドボール大好きな親父が、沢山おり、今でも、50歳以上の方々が集まって、定期的に試合をしています。

本当に、驚きです。

又、更に、我々白鷺クラブのメンバーに、日本リーグに登録している「琉球コラソン」の、スポンサーをしている方がおられ、一昨年、昨年と、2度程、ゴルフコンペを兼ねて、皆で沖縄まで、コラソンの応援に、行ったりもしております。

そう思うと、私の人生において、ハンドボールとのお付き合いは、結構長いのだなあ～と、感じますし、ようするに、皆様と同じ様に、ハンドボールが好きなのだと、実感します。

私も、今年で60歳の還暦を迎える事となり、丁度、自分のサラリーマン人生を、総括しなければならない、年齢になって参りました。

寝屋川OB会には、ご参加をさせて頂く機会、殆ど御座いませんでしたが、OB会が、途切れる事無く、現在もずっと、継続されておられる事に、御礼を申し上げます。

今回、興井さんからご指名を頂き、久しぶりに「寝屋高」のグラウンドで、将来を夢見ながら走り回っていた、あの頃の「青臭い」思い出が、頭をよぎり、卒業後は、殆ど会う機会の無かった、同期の方々や、先輩、後輩の方々の顔を思い出しながら、私の人生において、本当に良い思い出が持てた、寝屋高ハンド部に、改めて、感謝をしております。

と言う事で、次回投稿者の選任は、同期の「一丸邦子」さんか、29期の「鍋谷房雄」さんに、お願いします。

それでは、今後の、寝屋川クラブの、益々の発展を、祈念致しております。



38期 南畑 みき (旧姓、笹野)

ある朝、エレベータの扉が開くと、「ここ、汚れてますよ」と、床を示し、優しいお言葉

心無い飼い主の、犬の仕業だが、顔を上げて、思わず声が出た。

「ミルクさん、…ですよね?!」

「???、はい…」

「れおです!、ハンド部の1年後輩の、ささのです!」

ミルクさんが、私の住むマンションに、引っ越して来られ、奇跡の再会!、自分から、名乗ってみたものの、昔から、印象の薄い私を、ミルクさんは、すぐに思い出せないご様子

でも、私が先輩方を、忘れる訳がない。

1年遅れて、入部した私は、とにかく全てに、ついていけなかった。

特に、ウエイトやインターバルランで、へろへろ、よれよれ。

そんな時、「大丈夫?」と、優しく、声をかけてくださったり、励ましてくださったり、先輩方には、本当に良くしていただいた。

そして、こんな私を受け入れてくれた、同学年のみんなにも、感謝!感謝!

出遅れの、私にとって、ハンドボールは、辛く、厳しいものでしか、なかった。

シュートノックの、ラスト一本を外して、また1から…とか、試合で速攻、走っても、走っても、ゴールポストが見えず…とか、いまだに、そんな夢を見て、朝ぐったり、なんてよくある(笑)。

そんな私にも、楽しいと思えた試合が、1つある。

春の大会、会場は母校、相手は…??? (笑)。

私たちは、大リードしていて、北岡先生(5代目顧問)は、どんどんメンバーチェンジ、後輩たちとも、一緒に試合ができ、普段、右サイドの私も、45に移動

初めての45…が、どんなシュートを打っても、決まる。

ひら～り、飛んでみても、ステップでも。

ポストに落としても、これまた、決まる。

神、降臨としか、言いようがない。

シュートが決まると、コートの中も、外も、みんな笑顔で、喜んでくれていて…、それが、何より嬉しかった。

圧勝の次は、秋の大会で、負けてしまった、西寝屋川高校

神っていたものだから、私も上がって、ポスト一人の、5人攻撃態勢

すると、試合開始直後、「5番!、5番!、5番マークやっ!、もっとビッたり、マークせんかいつ!!!」と、何度も吠える、相手指揮官、赤星先生(7代目顧問)

マンツーマンに付かれ、慣れぬポジションに動けず、連携もギクシャク、すぐいつも通りに、戻ったような…、その後の事は、思い出せない。

試合には、勝ったはず…。

月日が流れ、赤星先生のご異動には、ビックリ。

私の事は、ご存じないだろうし、北岡先生も、あの試合の事は、覚えていらっしやらないだろうし。

ただ私は、この会報で、お名前を拝見するたび、あの日がちらっと甦る…。

リレー伝言板の、バトンタッチのルール、「なるべく先輩」、「男性・女性、1名ずつ」との事、困り果て…。

殆どお話しした事もなく、失礼ながら「米倉」さんか、ミルクさんを訪ねていらっしやる時に、お会いできる「あんず」さん、1学年先





寝屋川クラブ会報

輩の両キャプテンに、お渡しできればと思います（私の記憶が、正しければ、です。間違っていたら、すみません…）。

私にハンドボールをするきっかけを、創ってくださった北岡先生、一緒にプレイできた、先輩・同輩・後輩、直接存じ上げないOB、OGの皆様、会や会報のお世話くださっている方々、本当に、ありがとうございます。

暑い季節が、また来ました。

皆様、お身体、おいたわりください。



43期 大庭 かおり（旧姓、草木）

いつも、お世話になります。

43期生（多分・・・）の、大庭（草木）かおりです。

卒業後、20年以上経ちますが、OB・OG会の方には、ほぼ貢献できていない分際で、会報に載せていただくとは、本当に恐縮です。現役時代の思い出ですが、北岡先生（5代目顧問）に、お世話になっておりました。

できない部員で、本当に、申し訳ない程でした。

北岡先生、ありがとうございました。

高校3年間、引退するまで、休みも少なく、練習は、本当にきつかったです。

雨が降っても、日が落ちて、部活三昧の日々。

夏のプールの授業の時は、短パンの跡が、太ももにくっきりと残って、恥ずかしかったことを、覚えています。

夏休みや、春休みには、合宿があり、朝食前から、練習三昧。

でも、今、思うと、楽しかったことしか、覚えていません。（都合のいい、私の記憶力、バンザイ！）

高知に、合宿に行ったときは、よさこい祭りの見学や、花火を見に行ったこと、雨が降って、練習できない時には、みんなで、夏休みの宿題をしたり、銭湯に行ったこと（四日市に、合宿に行ったような、記憶が・・・）。

思い出は、美化されているのかもしれませんが、ハンドボール部に入って、高校3年間、続けてよかったです。

今では、心から思います。

長女が今年、高校に入学しました。

中学時代から吹奏楽部で、現在も、部活でトランペットを吹いています。

中学時代は、部活がしんどくて、何回もやめたいと、言っていたのですが、何度も、話を聞いては、辞めずに続けるように、言っていました。

中学最後のコンクールでは、初めて金賞をとることができて、辞めずに続けてよかったです、言ってくれたのが、本当にうれしかったです。

でも、子供が辛そうにしているのを見るのは、本当に、苦しいものがありました。

自分の高校時代を思い出して、やめたくても、最後まで続け、たくさんの仲間に出会えて、同じ時間を共有できたことが、今となっては、自分の生きる力となり、よい思い出になっています。

だからこそ、続けることの大切さを、子供に伝えることができたんだと、思っています。

近況を、少しお話ししたいと、思います。

高校卒業後、看護師・助産師の資格を取り、病院で、勤務していました。

現在は、看護科の教員として、看護師を目指す、学生さんを相手に、四苦八苦していますが、若いエキスを、たくさん吸収して（笑）、なんとか頑張っています。

書いていたら、また、同期のみんなと、会いたくなってきました。

これを読んだら、御連絡ください（笑）、夏休みにでも集まりましょう～

次は、同期で高校時代、いつも一緒だった、「藤江（中野）文恵」さんか、同期で、高校3年生の時に、同じクラスだった、「高桑」くんにもバトンへと、渡したいと思います。

よろしく、お願いします。



49期 岡内 彩美（旧姓、田中）

このたび、リレー伝言板を、書かせていただくことになりました、49期の岡内 彩美（旧姓、田中）です。

最初、お話を聞いた時は、こんな私にと、とまどうばかりでしたが、気楽に書いていただけたらいいですよとの、お言葉に、恐縮ですが、せっかくお声かけ頂いたので、お受けすることにしました。

私が、ハンドボール部に入部したのは、高校1年の春でした。

当時、顧問だった、北岡先生（5代目顧問）が、保健体育の授業の担当で、同じクラスの友達が、仮入部に行ったところ、熱烈な先生の勧誘をうけて、それで、私にも声がかかったことが、きっかけです。

私は、中学の時は、文科系クラブで、運動未経験、運動音痴と、どう考えても、ハンドボールとは、縁がなかったはずなのですが、なぜか、私が、仮入部することになり、あれよ、あれよという間に、本入部することになりました。

当時、とにかく、部員数が少なく、試合をするにも、メンバー交代する余裕が、あまりないほどだったように、思います。

そういうこともあって、入部から1カ月も、経たないうちに、練習試合には、スタメンとして、出場していました。

確か、まだ、ルールもよくわかっていなくて、とりあえず、人数あわせにという、感じだったのかなと、思います。

そうして、ハンドボール漬の生活が、始まりました。

土曜、日曜には、OB・OGさんが、練習を見に来てくださり、熱心に、指導してくださいました。

OB・OGさんは、私たちより、はるかに華麗なボール裁きで、流れるようなシュートを、何本も決めていて、身軽さに驚いた、記憶があります。

ハンドボール部生活の中で、特に思い出深いのが、夏の北水会館での、合宿です。

練習がハードだったのは、もちろんですが、学校近くの、料理店の食事メニューが、とにかく斬新で、大盛りカレー&大盛り冷やしそうめんなど、組み合わせも、ボリュームも、なかなかのもので、食欲旺盛なあの時でも、完食は、できなかったと思います。

私たちの、現役のころは、地方大会で、一勝できるか、できないかというくらい、弱かったので、残念ながら、ハンドボールを、室内でやった経験はなく、毎年夏になると、真っ黒に日焼けし、短パン焼けで、足がポッキーのように、なっていました。

当時の、写真を見返すと、顔が真っ黒で、焦げたように、なっていました。

まさか、こんな私が、3年間もクラブを続けられるとは、思っていなかったのですが、寝屋川高校で、ハンドボールと出会えたことは、とっても幸せでした。

最後まで、あきらめない粘り強さは、3年間のクラブ経験を通じて、得たものだと思います。

現在は、箕面市に在住しており、小2の男の子と、幼稚園年少の女の子の、子育てに追われる日々です。

すっかり、スポーツとも、縁遠くなってしまっていて、よく、あんなハードなスポーツができてたなあ、と思うほどです。

炎天下を、走り回っていた頃が懐かしく、若いっていいなあ～と・・・。

現役生の方、3年間はきっといい思い出になると、思います。

思いっきり、ハンドボール生活を、楽しんでください。

では、次のバトンを、受けてくれることになった、51期の「松村友紀」さん、よろしくお願いします。



寝屋川クラブ会報

59期 藤森 敏行

59期の、藤森です。

早いもので、寝屋高を卒業して10年以上経ちました。

もちろん、ハンドボールからも、ずっと遠ざかっているのですが、今、試合をすることになれば、3分も、グラウンドに立ってられないでしょう。

当時を、思い出しながら、書かせて頂きますが、跳んだり、ぶつかりあったり、思いっきりボールを投げたりと、改めて、タフなスポーツだと思います。

高校入学前の私は、ハンドボールの、存在も知らなかったし、ましてや、ハンドボールをやることになるなんて、夢にも思ってもいませんでした。

中学時代は、野球部に所属していて、高校も、野球を続けようと思っていました。

ですが、当時、寝屋高の野球部は、丸刈りをしなければならず、事前に、何も調べていなかった私は、入学まで、そのことを知りませんでした。

そして、その事実を知り、思春期特有の、謎のこだわりを持っていた私は、丸刈りが、嫌というだけで、野球を辞めました。

入学して2か月ほど、何もしなかったのですが、とても退屈に思え、他の部活に入ろうと思ひ、部活の紹介冊子を、パラパラとめくっていたところ、ハンドボール部の紹介を、見つけました。

「これ、よくわからんけど、ボール投げる、競技ちゃうん？」と思ひ、ボールを投げるのが、好きだった私は、どんなスポーツかも知らず、仮入部に行きました。

仮入部に行った初日、シュート・パス練習を、させてもらったのですが、ボールを全然うまく、握れませんでした。

それでも、力任せに、ブン投げて、うまくシュートを決められた時は、とても、嬉しく思えました。

その時に、先輩方のジャンプシュートを、見たのですが、とてもかっこよく見え、自分もこんな風に、シュート打てるようになりたいなあ、と思ひました。

そして、仮入部に一週間ほど行き、形だけなんとか、ジャンプシュートが、できるようになり、シュートが、楽しくて仕方なかったことを、覚えております。

「もっと、うまくなりたいなあ」、そう思えたので、ハンドボール部に、入ることに決めました。

このようにして、私はハンドボールを、始めたのですが、ハンドボールを、高校時代にやって、良かったと、思っております。

チームも弱く、私自身も、下手くそでしたが、練習メニューや、フォーメーションを、チームのみんなと考えたりして、みんなで協力して、何かをする、その過程も、ハンドボールの面白い要素だと、思えました。

当時、一緒に協力し合い、頑張り合った、みなさん一人一人に、感謝いたします。

高校時代に、ハンドボールを始めるのは、自分にとって、予想できない事でしたが、自分の知らない、何か新しいことに、挑戦してみるの、すごくいいことだと、高校時代を振り返り、改めて思いました。

それでは、次の方の指名ですが、59期の「岩井安寿香」さん、そして60期の「袋井克平」くん、お元気ですか、次回のリレー伝言板、よろしくお願いします。



66期 大野 恵莉菜

この度、同期キャプテンである花光真紀さんから、リレー伝言板の指名をいただきました、66期マネージャー、大野恵莉菜です。

よろしく、お願いいたします。

私の高校時代の記憶のほとんどは、ハンドボール部での思い出です。

引退の時に、全員で撮った集合写真は、今も机の上に飾ってあり（今、目の前に、あります）、同期や後輩のみんなが、誕生日や引退の時にくれた、プレゼントやメッセージは、今も大事に、しまっています。（たまに眺めて、にやにやしています。）

私が、女子ハンドボール部のマネージャーを、しようと思ったのは、直感です。

初めて、練習を見に行った日、「ここだ」と、思いました。

本当です(笑)。

でも、その直感は大当たりで、最高の仲間と、かけがえのない思い出が、できました。

ハンドボール部のことを考えると、思い出すのは、みんなの汗のにおい、「ナイッショー」の声、乾いたコートに、水を撒く感覚、そして何よりも、試合で見せる、みんなの真剣な表情と、かっこいい姿です。

私は、みんなに、何度も、試合で、鳥肌を立たせられました。

いい意味で、何度も、泣かされました。

練習試合でも、公式戦でも、日々の練習の成果を発揮して、感動をくれるみんなの姿が、原動力でした。

だから、3年間があっという間で、すごく楽しかったです。

時には、みんなの、苦しい顔も見ました。

1番多かった原因は、怪我だったと、思います。

普段から、あざや傷が絶えない、真黒に日焼けした、みんなでしたが、大きなけがをしたときは、私まで、ほんとに辛かったです。（もちろん、本人が、1番辛いんですが…）

そんな状況でも、けがで練習できなくても、試合に出れなくても、みんなの前では、大声出して応援して、自分にできることを、全力でやっているみんなのことを、本当に尊敬していました。

そして、入部当時、怖すぎて、喋れなかった赤星先生（7代目顧問）は、部員想いの、心の温かい先生でした。

そんなみんなに出会えた、高校生活は、何回振り返っても、やっぱり、きらきらしています。

大学に入って、現在は、学業と並行して、ボランティア活動をしています。

誰かの為に、夢中になって動くのは、やっぱり性に合っていて、その原点は、この寝屋川高校ハンドボール部での、3年間です。

高校時代、いつもみんなの、本気の姿を見てきたからこそ、この人達の為に、何かしたいと、思えるようになりました。

そんな風に、人に影響を与えられる、選手たち、先生、ハンドボールという競技は、ほんとにすごいですね。（笑）

来年からは、社会人です。

寝屋川高校ハンドボール部での、3年間の思い出を、持ち続けて、これからも、頑張ろうと思ひます。

次は、66期男子ハンドボール部、「児玉竜汰」くん、お願いしたいと思います。

よろしくね



67期 木山 知郁

67期で、副キャプテンをしていました、木山知郁です。

今回、リレー伝言板を、書かせていただくにあたり、久しぶりに、クラブノートを見返しました。

クラブノートには、試合の反省や、嬉しかったこと、悔しかったこと、時には、赤星先生（7代目顧問）からのお叱りや、褒め言葉など、たくさんの忘れられない思い出が、綴られています。

思い返せば、入学式の日朝、赤星先生から、勧誘の電話があり、入学式に遅刻したと、勘違いした母と、2人で大慌てしたと、思い出しました。



ハンドボール部に入れば、必ず、高校生活を充実させてやる！、日曜日は、オフや！と言う、赤星先生の言葉を信じ、迷わずハンドボール部に、入部しました。

私たち 67 期生は、マネージャー2 人と、プレイヤー9 人の、計 11 人という、大変人数の少ない学年でした。

1つ上の先輩は、私たちの 2 倍ぐらいの人数で、とても勢いのある、学年だったので、入部当初は、この少人数で、チームとして、しっかりやっつけていけるか、不安でした。

また、全員が小柄で、身長 160 cmを超える選手が、1 人もいませんでした。

練習では、基本のパスキャッチさえも、上手く続けられず、正直に言って、最初は、全く赤星先生から、期待されていない、学年でした。

何度も怒られ、何度も悔しい思いをしたことを、思い出します。

私は、特に、チームの中でも、よく怒られる方でした。

期待して、怒ってくださっていることを、頭ではわかっている、毎日毎日、怒られて、ハンドボール部を辞めたいと、思うこともありました。

また、先輩の試合に、入るのが嫌で、赤星先生から、見つからない場所に、隠れたことも、何度もありました(笑)。

その頃は、赤星先生のごことが、大嫌いで、見返えそうと、ハンドボールを頑張っていました。

チーム内でも、上手いかわず、試合中に、言い合うこともありましたが、67 期生は、とても仲が良く、試合が終わると、みんなケロっとして、わいわい騒いでいるような、元気いっぱいの学年でした。

朝の自主練に、みんなで参加することも、よくありました。

チームワークがよく、しっかり声かけが、できていたので、ディフェンス力を強化するように、赤星先生から、ご指導いただきました。

ディフェンスをさぼらず、連携を取り、相手のミスを誘い、速攻するという、チームの形ができてくると、面白いぐらいに、試合で勝てるように、なってきました。

すると、段々とハンドボールが楽しくなり、勝ちたい！、赤星先生を、近畿大会に連れて行きたい！と、心から、思うようになりました。

その頃から、赤星先生を喜ばすために、練習を、頑張るようになりました。

私たちの学年に、スーパースターのような、目立つ存在は、居ませんでした、一人一人が、自分の役割を確実にこなす、信頼のできる、チームメイトたちでした。

特に、キーパーの山本さんは、一見、大人しそうに見えますが、試合になると、どんな球でも止めてくれる、とても頼りになる存在でした。

新人戦では、全く期待されてなった 67 期生が、北ブロックで、2 位になることができました。

その時は、本当に嬉しかったのを、覚えています。

その頃から、自分は、部活をするためだけに、学校に行っているようなものでした。

そして、チーム全員で、一致団結して挑んだ、最後の大会では、中央大会まで進めたものの、三国ヶ丘高校に、最後に、ペナルティ一合戦で、負けてしまいました。

試合で負けたことは、もちろん悔しかったですが、それ以上に、赤星先生を、近畿大会に連れて行けなかったことを、チームのみんなで、後悔しました。

今でも、その時の試合を思い出すと、当時のことが、鮮明に蘇ります。

大学生になった今、67 期生で集まると、「部活、しんどかったけど、本間に充実してたな～」、「めっちゃ、怒られたけど、めっちゃ、いい思い出やな～」と、いう言う話に、よくなります。

赤星先生に、怒られたこと、褒められたこと、チームみんな、大喜びしたこと、悔し泣きしたことなど、たくさんの思い出が詰まった、3 年間でした。

寝屋川高校で、ハンドボール部に入ったおかげで、とても充実した、高校生活を、送ることができました。

また、今でも、ずっと仲良くしている、最高の仲間にも、出会えました。

このような、機会を作ってくれた、赤星先生に、本当に感謝をしています。

いつか、少し、大人になった 67 期生と、赤星先生で、飲みに行ってみたいです！！

今回は、1つ下の学年で、キャプテンをしていた、「足立」さんをお願いしたいです。

① 「会員通信・リレー伝言板」では、会員の皆さんを、大体 10 年単位 8 グループに分けて、皆様に現役の時の思い出、卒業後のハンドボールとの関わり、近況等を、自由に綴っていただき、日頃疎遠になりがちな、顧問の先生、先輩、同期、そして後輩へ、会員通信として、リレー形式でつないでもらって、会員の皆さんに紹介をし、親睦の輪を広めたいと思っています。(但し、3~15 期の第 1 グループについては、現在、寄稿依頼がうまく出来ず、休止状態と、なっています。)

② 本文では、今回の寄稿者の方には、次回の寄稿者の指名を行っていただいています。

次回指名された方には、次回の会報発行時に、OB・OG会役員より、寄稿のお願い・要領等の連絡をさせていただきますので、その節には、ご協力の程、よろしくお願いします。

② 会員の皆様、今回掲載されました内容について、感想、コメント等、あなたの熱いメッセージを、別紙「会員だより」で、FAX072-849-7237、又は、[メール kkteranishi@yahoo.co.jp](mailto:kkteranishi@yahoo.co.jp)で、事務局 20 期寺西啓三まで、お寄せください。

< お 願 い >

OB・OG会、現在の会員数は 966 名ですが、その内、約 230 名(24%)の方が、住所不明で、会報をはじめとする、情報をお届け出来ていません。

会員の皆様で、住所、電話番号の変更や、訃報、又、今までの送付先が実家で、変更希望をされる方は、別紙「会員だより」で、お知らせ下さい。

事務局 20 期 寺西啓三

〒573-0013 枚方市星丘 4-12-8

TEL 090-5887-8777

FAX 072-849-7237

パソコンメールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

